

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【創造科学系】

小学校体育授業を構成するための基本的な考え方と、各運動領域における運動指導の観察視点を理解しているか。

指導実践への問題意識と指導に真摯に取り組む姿勢。

M1とC I は、①授業中の発言等、②20分の展開案(デジタル教材参考)、③毎時間のミニレポートについて、発言・論述の論理構成と創造性を観点として、総合的に評価しました。  
Eは、①授業中の発言、②実際に教職実践の経験をふまえたレポート、③毎時間のミニレポートについて、発言・論述の論理構成と自己省察性を観点として、総合的に評価しました。

出席、授業態度、指導した内容の理解度、到達度、テスト。

どれだけ意見をもったり、対話したか、

(2)で述べたようにまずは自分自身が体験することを第一に考えていますので、授業に出席して音楽に触れて感じる事、様々な音楽活動に意欲的に取り組むことを重視しました。そしてその体験から得た気づきや感想、授業の流れ・内容・展開方法など、を言葉で表現した振り返りシートも合わせて重視しました。その他、グループワークや演奏・実技の取り組みや試験も含みました。試験では、授業で学んだ基礎的なことや、この授業を受講したまとめになるように、また改めて自分を振り返るきっかけになるように出題しました。それらを総合して成績といたしました。

通常講義の中での小レポートも評価の一部に入れています。  
中間レポートと期末の理解確認テストを合わせて評価しています。

- ・毎日の授業の参加意欲(発言、レポートなど)
- ・模擬授業の取り組みと個々の教師としての適性チェック
- ・新学習指導要領の読み込みチェックなど

講義で扱った学習指導要領を理解したうえで、具体的な授業展開を考える力の基礎を身に付けたか。

ミニレポートの記述内容から主として理解度、創造性を観点到に評価している

出席及び受講態度(60%)、課題レポート(40%)により総合的に評価する。

授業態度や提出物(レポートや作品)等を点数化して成績評価を行う。

出席およびレポートの評価

1曲当たり15点で評価。課題は6曲あるため、合わせて90点。また出席点が2点。最初からの努力点が8点。合計100点。

授業態度や発表、課題提出で努力が見られた場合はA評価として、その評価を基準として試験課題のレポートとの評価をあわせて成績評価とする。

美術教師に求められる観点として、①授業の展開力、②言葉のスピードや抑揚、③表情や立ち位置、④説明や発問の内容、⑤評価方法の工夫、⑥材料や資料の準備、⑦わかりやすさ、⑧興味をわかせたり、集中させる工夫、⑨板書計画、またはスライドや掲示物などの出来、⑩本人の自己評価(感想文)を踏まえて評価を行った。

概ね、受講者の殆どが80%以上の出来(AまたはS)具合であったが、なかには、そこにまで至らずB評価になった受講者や、かろうじて合格(C)という者もいた。

毎時の授業での学び、作品、レポート等を評価基準に沿い点数化して、合計得点で出しています。

授業の出席状況、態度 30%、実習授業参加並びにレポート 10%、期末試験 60%で成績を評価した。

出席率と授業で行った課題曲の中から任意の1曲の弾き歌いの試験、およびレポートによって成績評価を出した。